

あさぎり町 下水道事業 経営戦略【概要版】

1. 経営戦略策定の趣旨

- ・本町では、人口減少、施設老朽化等、下水道事業の経営環境が厳しくなる中で、将来にわたって安定的に下水道事業を継続していくため、中長期的な視点から下水道事業および地域の現状と将来見通しを踏まえ、「あさぎり町下水道事業経営戦略」を策定するものです。
- ・計画期間は、令和4年度～令和13年度とします。

2. 事業概要

- ・処理区域内人口は、全国的な趨勢と同じく減少傾向にあり、過去10年間で689人の減少となっています。また、料金算定の基となる有収水量は、平成29年度まで増加傾向にあり、その後減少しましたが、令和2年度に再び増加しています。
- ・令和2年度、地方公営企業法を適用し、公営企業会計を導入しました。これにより、資産や経営状態の的確な把握等の効果が期待できます。

3. 将来の事業環境

(1) 処理区域内人口

- ・人口減少の影響を受け、処理区域内人口は令和4年度～令和13年度で、1,747人減少すると予測しています。



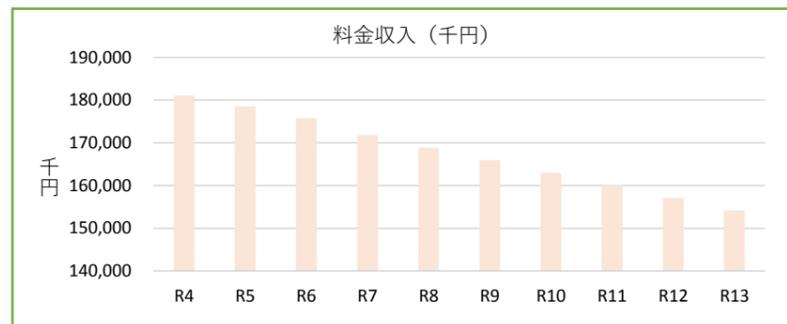
(2) 有収水量の予測

- ・処理区域内人口の減少に伴い、有収水量は令和4年度～令和13年度で、179 m³/日減少すると予測しています。



(3) 料金収入

- ・現料金を採用する想定としました。目標年度である令和13年度まで収益的収支は黒字となると予測しています。

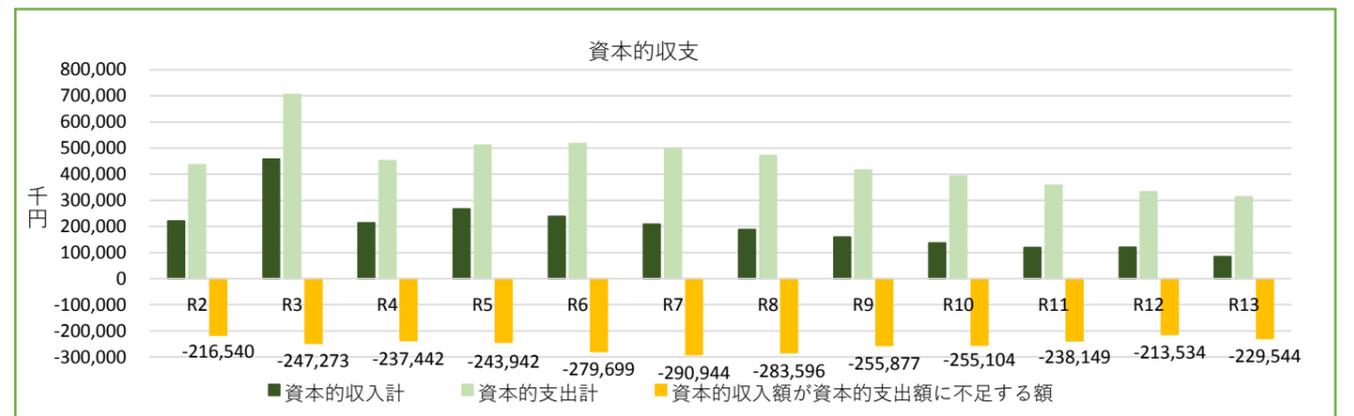
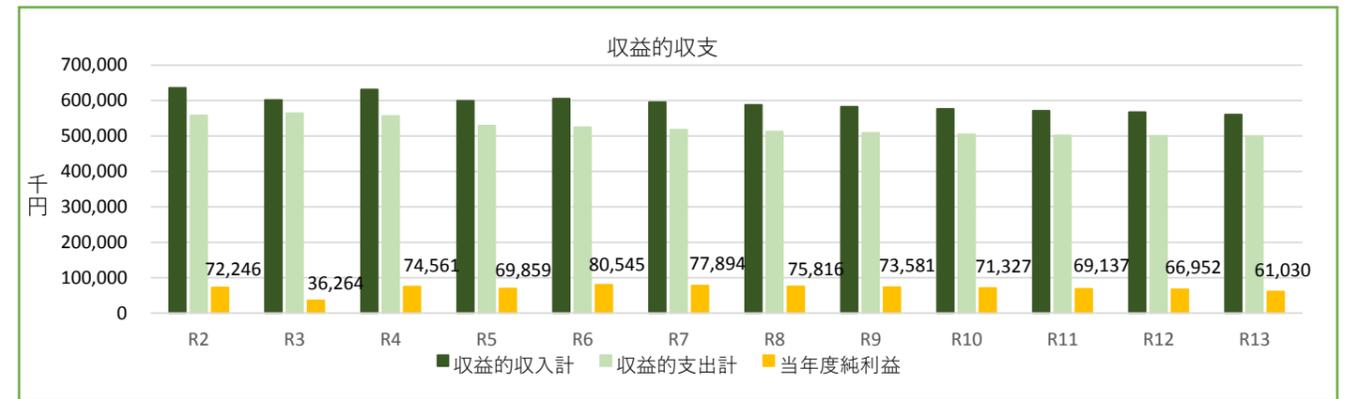


4. 経営戦略の基本方針

- ・人口減少や施設の老朽化、大規模災害への対策など下水道事業を取り巻く環境が厳しさを増していることを踏まえ、「理想像：将来にわたり快適で安心な下水道事業を継続させる」を掲げます。
- ・令和13年度における経営指標の目標値を、経常収支比率100%以上、累積欠損金比率0%、流動比率100%以上、経費回収率100%以上、水洗化率100%以上に設定します。

5. 投資・財政計画

- ・投資目標は、①管渠敷設による道路仮舗装の計画的な本復旧、②マンホールポンプの計画的な更新工事、③マンホールトイレの計画的な設置工事の3点とします。



6. 経営戦略の実施、事後検証、改定

- ・本経営戦略は、毎年度の進捗管理、3～5年毎の検証や評価、改定を行っていくPDCAサイクルを導入していきます。
- ・改定の際には、ストックマネジメント等の取り組みの充実により中長期の収支見通し等の精緻化を図りながら、質の向上に努めていきます。